

●一般共同研究

赤肉メロン新品種「空知交20号」

平成20～24年（5年間）

花・野菜技術センター

共同（協力）機関 株式会社 大学農園

Abstract 概要

メロンえそ斑点病は土壌伝染性のウイルス病で全道各地で発生して問題となっています。現在、抵抗性台木を用いた防除が主流ですが、台木種子の購入による経済的負担、接ぎ木作業による労力負担が発生することから、えそ斑点病に抵抗性を有する赤肉品種の育成が望まれていました。そこで、花・野菜技術センターと(株)大学農園は、北海道で安定的に生産でき、えそ斑点病に抵抗性を有する赤肉品種の育成を目標に品種改良を行い、「空知交20号」を育成しました。

「空知交20号」はえそ斑点病に抵抗性を有する国内初の赤肉メロンです。そのため、えそ斑点病発生圃場でも抵抗性台木への接ぎ木や土壌消毒等することなく作付けが可能となり、台木種子代や労力負担の軽減が見込まれます。また、ワタアブラムシやうどんこ病（レース1）、つる割病（レース0、レース2）に対しても抵抗性であり、クリーン農業に有利な特性を多く有しています。一方、果実は道内主要赤肉品種である「ルピアレッド」より外観品質が優れ、食味も良好です。以上のことから、「空知交20号」は、えそ斑点病発生地への普及が見込める品種として期待しています。

Results 成果

1 えそ斑点病抵抗性の比較（接種検定）



「空知交20号」

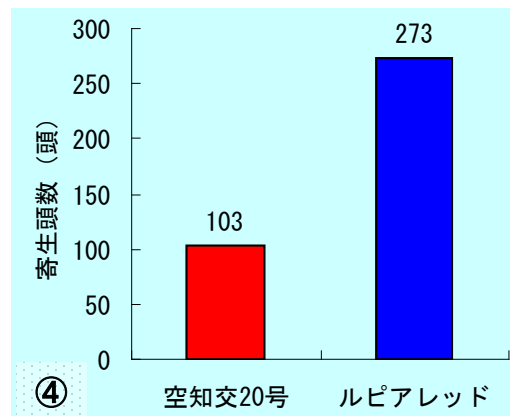
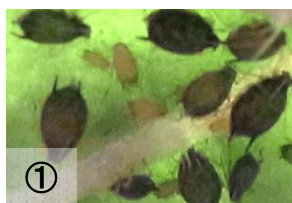


「ルピアレッド」

「空知交20号」は病斑が形成されていないのに対し、「ルピアレッド」では多数の病斑が形成されていました。このことから「空知交20号」は抵抗性であることが分かります。

2 ワタアブラムシ抵抗性の比較（接種検定）

ワタアブラムシ（①）の寄生頭数は「空知交20号」（②）では「ルピアレッド」（③）より明らかに少なくなりました（④）。このことから「空知交20号」は抵抗性であることが分かります。



図－1 1株に5頭接種し、9日後の寄生状況

Results 成果

3 果実の比較



「空知交20号」

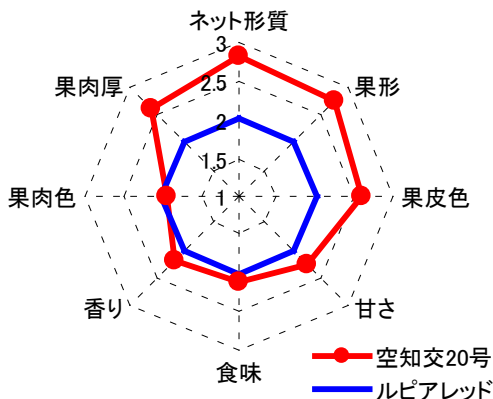


「ルピアレッド」

「空知交20号」は「ルピアレッド」と比較して、ネットが太く、盛上りも優っています。そのため、見栄えが良く高級感があります。

4 果実品質の評価

「空知交20号」は「ルピアレッド」と比較して、ネット形質や果形など、外観品質については高い評価を受けました。また、甘さや食味など、内部品質についても同等以上の評価を受けました。



図ー2 17名による評価、3(良)～2(「ルピアレッド」と同等)～1(劣)

5 植物体特性と収量性

表ー1 植物体特性と収量性

品種・系統名	着果期(cm)		開花始 ¹ (月/日)	着果率 (%)	良果収量 (kg/a)
	つる長	葉柄長			
空知交20号	178	21	5/24	93.8	319
ルピアレッド	165	20	5/25	98.2	349

¹目標着果節位の孫づる第1節について

「空知交20号」は「ルピアレッド」と比較して、草姿や開花日、着果率が同じで、良果収量もほぼ同じでした。そのため、「ルピアレッド」と同様な栽培が可能です。

Activities 業績

【発表論文等】

八木亮治・地子立・堀内優貴・平井剛・中野雅章・田中静幸・福川英司・佐藤昌一・佐藤善藏・佐藤公治 えそ斑点病およびワタアブラムシ抵抗性赤肉メロン新品種候補「空知交20号」、平成22年度北海道農業研究成果情報、(印刷中)

【研究成果入手先】

道総研農業研究本部の「農業技術情報広場」で、本成果に関する概要(pdf)を公開。

<http://www.agri.hro.or.jp/center/kenkyuseika/iippan23.html>

Dissemination 普及

■「空知交20号」は道内主要産地の農業改良普及センターにおいて普及展示を実施中。

■「空知交20号」は品種登録出願中であり、種子の販売開始は平成24年を予定しています。

Contact 問い合わせ

農業研究本部 花・野菜技術センター
研究部 花き野菜グループ

【電話】 0125-28-2800

【メール】 hanayasai-agri@hro.or.jp

【ウェブ】 <http://www.agri.hro.or.jp/hanayasai>